

# AIJ 新国際英文ジャーナル Japan Architectural Review はじまる

<http://www.aij.or.jp/paper-jar.html>

日本建築学会では学術成果が世界標準にそって評価される時代に移行する現状を踏まえ、我が国の建築学に関する学術・技術成果を英文で発信する堅固な発信媒体が必要であるとの合意に至り、新国際英文ジャーナル“Japan Architectural Review—International Journal of Japan Architectural Review for Engineering and Design” 通称JARの創刊を決定いたしました。

この国際ジャーナルJARは世界的な学術出版社であるWileyより電子出版によるオープンアクセスジャーナルとして出版します。当面、会員の掲載料は無料とすることが理事会で決定しています。是非、積極的な投稿をお待ちしています。

## Jpn Architec Revの対象論文

JARは、日本建築学会最高峰のジャーナルとして、建築に関する学術・技術・芸術のすべての領域を対象とし、以下の5つのカテゴリで論文を掲載します。

- a) 編集者記 (Editorial)  
：編集者による論評
- b) レビュー論文 (Review Paper)  
：日本及び海外の著名研究者による各分野の総括レビュー
- c) デザインレビュー (Design Review)  
：作品選集に掲載された作品のレビュー
- d) 翻訳論文 (Translated Paper)  
：日本建築学会構造系、計画系、環境系論文集に掲載された論文の英訳版 (Secondary Publication)
- e) 原著論文 (Original Paper)  
：一般公募論文

## Jpn Architec Revの編集方針

JARはエディター制で運営します。JARに投稿された論文には個別に担当エディターが指名され、査読者の選定から最終的な採否の決定まで責任を持つシステムを採用します。投稿論文は、2名以上の専門家によるピアレビューが行われます。

2018年の創刊から最短の3年でImpact Factor (IF)の取得を目指し、厳選された良質の論文を季刊(年4回)で年間50報程度、世界に発信します。

## Jpn Architec Revの編集体制

- Editor-in-Chief  
田辺新一 (早稲田大学)
- Associate Editors  
構造系: 竹内 徹 (東京工業大学)、竹脇 出 (京都大学)、  
中埜良昭 (東京大学)  
計画系: 安田幸一 (東京工業大学)、大月敏雄 (東京大学)、  
坂井 文 (東京都市大学)、松田雄二 (東京大学)  
環境系: 伊藤一秀 (九州大学)、大岡龍三 (東京大学)

## Jpn Architec Revへの投稿方法

投稿規定などの詳細情報は日本建築学会の以下のURLで確認してください。

<http://www.aij.or.jp/paper-jar.html>

JARの投稿はScholarOne Manuscriptsのプラットフォームを利用した電子投稿システムを採用しています。以下のURLよりアクセスしてください。

<https://mc.manuscriptcentral.com/JPNARCHITREV>

\* 正式運用は8月以降を予定しており、それ以前の投稿方法は事務局に確認してください。

